

令和4年度

業 務 年 報

広島県立総合技術研究所
西部工業技術センター

目 次

1	事業概要	1
2	事業実施体制	3
	(1) 組 織	
	(2) 土地・建物の現況	
	(3) 職 員	
	(4) 予算執行状況	
3	研究開発事業	7
	(1) 研究開発	
4	技術支援事業	10
	(1) 技術相談・指導	
	(2) 依頼試験	
	(3) 設備利用	
	(4) 技術的課題解決支援事業（ギカジ）	
5	技術移転事業	22
	(1) 保有技術紹介セミナー	
	(2) 研究成果の公表	
	(3) 工業所有権	
	(4) 広報活動	
6	人材育成事業	29
	(1) 技術者研修	
	(2) 企業等研究員受入制度	
7	産学官交流事業	30
	(1) 研究会活動	
	(2) 他機関との連携・支援	
8	その他	34
	(1) 職員研修	
	(2) 受賞等	
付	録	36
	(1) 令和4年度の主な行事等	
	(2) 沿 革	
	(3) 令和5年度の職員	
	(4) 広島県立総合技術研究所の組織	

1 事業概要

西部工業技術センターをはじめ、県内8センターが所属する広島県立総合技術研究所は、保健環境から工業、農林水産業まで非常に幅広い領域の技術を保有しています。その特徴を活かして、異分野や業際領域の産業が参集・協力し、県民や県内産業が新しい分野・領域にアプローチできる貢献度の高いスリムで効率的な試験研究機関を目指しています。

西部工業技術センターは、工業系の試験研究機関として、県内企業のニーズに応える研究開発と、その成果の移転促進、また、企業の課題解決に向けた技術指導、技術的課題解決支援事業、受託研究、人材育成のための技術者研修などにより、質の高い企業貢献ができるよう取り組んでいます。

(研究開発と成果移転)

産業技術の高度化や新規成長分野に対応する研究開発を進めるため、企業と連携して出口を見据えた研究開発に積極的に取組ました。また、大学や企業と連携し、競争的研究資金の獲得による研究開発を進めました。

研究開発した成果はホームページへの掲載、企業訪問や技術セミナー等による紹介をはじめ、報道機関を通じた情報発信に努め、研究成果の県内企業移転への取組を行いました。

(技術支援と人材育成)

技術指導や依頼試験、設備利用、さらに技術的課題解決支援事業、受託研究などにより、企業からの要望に応えた積極的な技術支援への取組を行いました。

また、急激に進む技術革新、国内外との厳しい競争などへの対応のためには、優れた研究者・技術者の養成が必要であり、こうした人材育成に向け、業界ニーズに基づく技術者研修を計画・実施しました。

○ 研究開発事業

- ・ 課題解決研究は、個別企業のニーズに対応する共同研究型として、材料製造プロセス分野2課題、デザイン・人間工学分野1課題の計3課題を実施しました。
- ・ また、競争的外部資金等による研究開発3課題、企業や大学等との共同研究10課題、企業等からの依頼に基づく受託研究7課題を実施しました。
- ・ これらの研究成果は、技術セミナー等で紹介するとともに、研究報告やホームページへの掲載、また、人材育成事業や研究会活動、技術相談・指導等によって、県内企業への移転・普及を図ります。

○ 技術支援事業

- ・ 企業への新技術の導入や技術力向上等を図るための技術相談・指導は、所内 5,414 件、現地等所外で 161 件実施しました。
- ・ 企業からの依頼で試験、分析、測定等を行う依頼試験は、1,723 件でした。
- ・ 企業の新製品や新技術開発等を支援するため、試験、加工、分析装置などの設備機器を開放し、5,911 件※の利用がありました。
- ・ 企業の技術課題の解決策を検討する技術的課題解決支援事業（ギカジ）は、118 件実施しました。
※ 職員による設備操作支援(1,751件)を含む。

○ 技術移転事業

- ・ センターの技術や設備機器の利活用促進を図るため、技術セミナーをオンラインで開催しました。
- ・ 研究開発した成果を保護，活用するため，2 件の国内特許を出願しました。
- ・ 研究成果の普及を図るため、展示会等への出展を行うとともに、ホームページに研究報告（第 65 号）と成果概要（事業概要）を掲載しました。

○ 人材育成事業

- ・ 技術者研修として、「めっき研修」を実施しました。

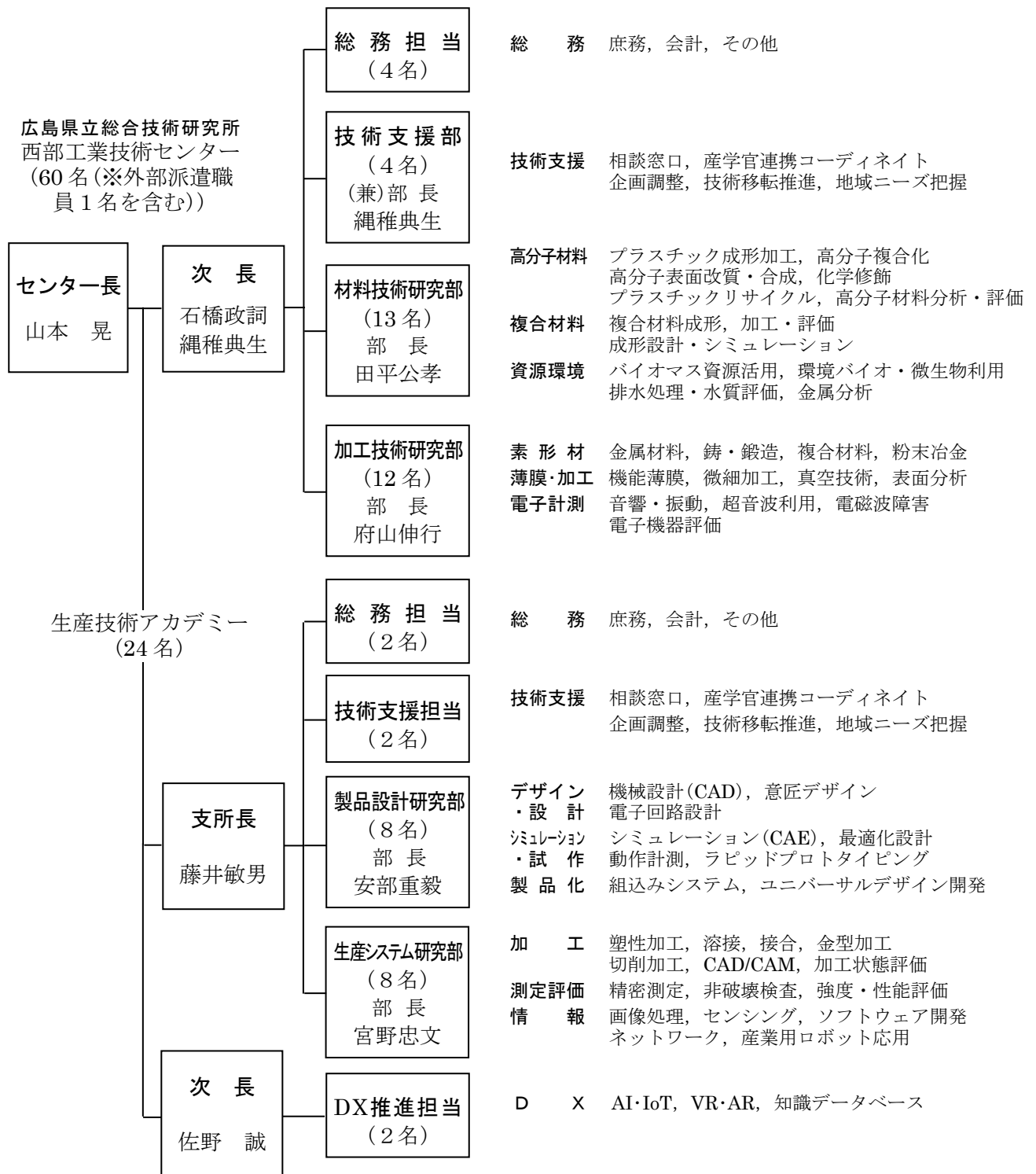
○ 産学官交流事業

- ・ 研究会活動として、広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会を 2 回開催しました。

2 事業実施体制

(1) 組織

(令和4年4月1日現在)



人員 60名 (内、企業派遣1名、エルダースタッフ4名、試験研究従事員1名)

(2) 土地・建物の現況

(本所)敷地：18,457.94 m² 建物：10,457.75 m²

名称	構造	年月日	建築面積(m ²)	延面積(m ²)
本館 (ポンプ室含む)	鉄筋コンクリート造り4階	H5.4.1	2,316.00	7,068.92
第一実験棟 (渡り廊下含む)	鉄筋コンクリート造り2階	〃	726.05	1,353.20
第二実験棟	鉄筋コンクリート造り2階	〃	949.05	1,925.25
音響棟	鉄筋コンクリート造り平屋建て	〃	110.52	110.38

(生産技術アカデミー)

名称	場所	年月日	室面積(m ²)
生産技術アカデミー (実験棟含む)	(株)広島テクノプラザ内	H13.4.1	2,320.73

(3) 職員

① 現員の状況

(令和4年4月1日現在)

区分	センター長	次長	支所長	部長	担当部長	副部長	主任研究員	研究員	主幹	主査	主任	主事	試験研究従事員	計
	現員	1	3	1	4	3	5	20	16	1	2	3		
本所		1	2											3
	総務担当								1	2	1			4
	技術支援部				(1)	1		2						3
	材料技術研究部				1		2	6	5					14
生産技術アカデミー	加工技術研究部				1		1	5	4				1	12
			1	1										2
	総務担当										2			2
	技術支援担当					1		1						2
	製品設計研究部				1		1	4	2					8
	生産システム研究部				1		1	3	3					8
D X 推進担当					1		1						2	

()内は兼務

② 職 員

(令和4年4月1日現在)

(本 所)

所属	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	山 本 晃
	次 長	石 橋 政 詞
	次 長	縄 稚 典 生
総務担当	主 幹	西 原 久 人
	主 査	正 尺 弘 樹
	主 査	楠 岡 静 香
	主 任(エルダースタッフ)	掲 野 史 也
技術支援部	(兼)部 長	縄 稚 典 生
	担当部長(営業担当)	西 川 隆 敏
	研 究 員	井 鷲 洋 介
	研究員(エルダースタッフ)	山 下 弘 之
材料技術研究部	部 長	田 平 公 孝
	副 部 長	松 永 尚 徳
	副 部 長	小 島 洋 治
	主 任 研 究 員	本 多 正 英
	主 任 研 究 員	菅 坂 義 和
	主 任 研 究 員	宗 綱 洋 人
	主 任 研 究 員	河 野 洋 輔
	主 任 研 究 員	西 田 裕 紀
	主 任 研 究 員	杉 原 正 洋
	研 究 員	坂 田 拓 也
	研 究 員	佐 川 洋 行
	研 究 員	丸 本 翼
	研究員(エルダースタッフ)	下 原 伊 智 朗
加工技術研究部	部 長	府 山 伸 行
	副 部 長	長 谷 川 浩 治
	主 任 研 究 員	伊 藤 幸 一
	主 任 研 究 員	問 山 清 和
	主 任 研 究 員	森 下 勇 樹
	主 任 研 究 員	岩 谷 稔
	主 任 研 究 員	寺 山 朗
	研 究 員	棗 田 洋 平
	研 究 員	長 岡 孝
	研 究 員	藤 本 直 也
	研 究 員	内 山 陽 介
	試験研究従事員	筒 本 隆 博

(生産技術アカデミー)

所属	職 名	氏 名
	支 所 長	藤 井 敏 男
	次 長	佐 野 誠
総務担当	主 任(エルダースタッフ)	永 末 浩 二
	主 任(エルダースタッフ)	西 村 聡
担当 技術支援	担当部長(営業担当)	門 藤 至 宏
	主 任 研 究 員	友 國 慶 子
製品設計研究部	部 長	安 部 重 毅
	副 部 長	大 川 正 巳
	主 任 研 究 員	佐々木 憲 吾
	主 任 研 究 員	田 邊 栄 司
	主 任 研 究 員	橋 本 晃 司
	主 任 研 究 員	横 山 詔 常
	研 究 員	姫 宮 一 輝
生産システム研究部	研 究 員	富 森 崇 文
	部 長	宮 野 忠 文
	副 部 長	門 格 史
	主 任 研 究 員	前 田 圭 治
	主 任 研 究 員	岡 野 仁
	主 任 研 究 員	後 藤 孝 文
	研 究 員	小 玉 龍
	研 究 員	石 田 大 騎
	研 究 員	久 保 田 将 矢
	担当 DX推進	担 当 部 長
主 任 研 究 員		倉 本 丈 久

人員 60名 (内、企業派遣1名、エルダースタッフ5名、試験研究従事員1名)

(企業派遣)

一	研 究 員	末 村 紘 志
---	-------	---------

(4) 予算執行状況

① 歳入

(単位：千円)

科 目	令和3年度	令和4年度
使用料及び手数料	17,623 (20,917)	22,907 (27,472)
使 用 料	9,530 (12,674)	13,006 (17,285)
手 数 料	8,093 (8,243)	9,901 (10,187)
諸 収 入	20,661	14,604
受託事業収入 試験研究受託金	11,451	4,948
受託事業収入 技術的課題解決支援事業受託金	8,062	7,917
雑 入 弁 償 金	3	132
雑 入 雑 収 入	1,145	1,607
財 産 収 入	—	—
物 品 売 払 収 入	—	—
合 計	38,284 (41,578)	37,511 (42,076)

注) ・()内は、ひろしま産学共同研究拠点の使用料・手数料を含む。

・金額は表示単位未満四捨五入のため、合計金額と一致しないことがある。

② 歳出

(単位：千円)

科 目	令和3年度	令和4年度
総 務 費 企 画 費 研 究 開 発 費	149,703	130,688

3 研究開発事業

(1) 研究開発

課題解決研究は、共同研究型として材料製造プロセス技術・デザイン/人間工学の分野の3課題を実施し、DX事業では、3課題を実施しました。

また、競争的外部資金等による研究を3課題、企業や大学等との共同研究10課題、企業等からの依頼に基づく受託研究を7課題実施しました。

① 課題解決研究（一般型）（1課題）

技術分野	研究課題	研究期間 (年度)	担当部
材料製造プロセス	デジタルものづくりによる不良レス射出成形技術の開発	R4～ R6	材料技術研究部 加工技術研究部 生産システム研究部

② 課題解決研究（共同研究型）（3課題）

技術分野	研究課題	研究期間 (年度)	担当部
材料製造プロセス	摺動部へのウエットコーティング技術を用いた医療用プレフィルドシリンジの開発	R4	材料技術研究部
	異常組織防止のためのアルミビレット加熱装置の開発	R4	加工技術研究部
デザイン開発	使いやすさと審美性を高めた医療プローブの開発 ー共創によるデザイン評価フローの開発を目指してー	R4	製品設計研究部

③ DX事業（3課題）

技術分野	研究課題	期間	担当部
画像処理/AI技術	目視計測技能のデジタル化	R2～R4	加工技術研究部
V R ・ A R	VR/AR技術による公設試のバーチャル化	R2～R4	製品設計研究部 DX推進担当
A I 技 術	研究員の技術支援における暗黙知のデジタル化	R2～R4	DX推進担当

④ 競争的外部資金等研究（3課題）

事業名	研究課題	研究概要	期間	担当部
JST研究成果 展開事業 A-STEP トライアウト 公益財団法人 天田財団 2020年度 前期助成	汎用ツールによる 金型レスの逐次 曲げ成形技術の 高度化	薄板鋼板の逐次曲げ成形技術の現場展開で必要となる「より自由度が高く、かつ高品質な曲げを実現する逐次曲げ」と「局所曲げによる複雑形状部品の矯正」を解決するため、試作機開発を進め、トライアル及び計算によって逐次曲げ加工の高度化を目指します。	R2 ～R4	製品設計 研究部 生産システム 研究部
NEDO 海洋 生分解性プ ラスチック の社会実装 に向けた技 術開発事業	生分解性試料の 実海域浸漬試験 の実施とその生 分解及び物性評 価試験	海洋生分解性プラスチックの開発、市場導入を促進するため、海洋生分解メカニズムに裏付けされ、ISO 国際標準化を視野に入れた生分解性評価手法開発の研究開発項目「海洋生分解性に係る評価手法の確立」において、実海域で実際に試料を浸漬させる実環境試験を行い、この簡易実環境試験方法の確立とともに、ラボ試験からの実環境生分解予測の各種因子抽出を行います。	R2 ～R4	材料技術 研究部
成長型中小 企業等研究 開発支援事 業	光改質により強 固なガラス化層 を有するポリカ ーボネート樹脂 製透明材料の開 発	軽量でデザイン性に優れるポリカーボネート（PC）樹脂製の窓は強化ガラスに代わる次世代自動車用窓素材として期待されているが、現在実施されているハードコート表面処理による耐久性の向上は自動車用途での要求レベルには達していない。本研究開発では、独自技術であるポリシラザンと光改質技術を用いてハードコート層の最表面に緻密なガラス層を形成することで「超耐久性」を有した自動車用樹脂窓の開発を目指す。	R4 ～R6	材料技術 研究部

⑤ 共同研究（10 課題）

（共同研究先別課題数）

共同研究先	材料技術 研究部	加工技術 研究部	製品設計 研究部	生産システム 研究部	合 計	比 率 (%)
企 業 等	4(1)	1	2	1	8(1)	80.0
大 学 等			1	(1)	1(1)	10.0
国 研 究 機 関	1				1	10.0
合 計	5(1)	1	3	1(1)	10(2)	100.0

※) ()付きは、他部課題への支援件数

⑥ 受託研究（7 課題）

（委託者の業種別課題数）

業種 No.	委託者の業種	材料技術 研究部	加工技術 研究部	製品設計 研究部	生産システム 研究部	合 計	比 率 (%)
1	食 料 品 製 造 業					0	0.0
7	化 学 工 業					0	0.0
9	プラスチック製品製造業					0	0.0
11	窯業・土石製品製造業					0	0.0
15	はん用・生産用・業務用 機 械 器 具 製 造 業					0	0.0
17	電気機械器具製造業					0	0.0
19	輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業		1			1	14.3
28	教育、学術研究、専門・技術サービス業			1		1	14.3
30	そ の 他	3		1	1(1)	5(1)	71.4
	合 計	3	1	2	1(1)	7(1)	100.0

※) ()付きは、他部課題への支援件数

4 技術支援事業

(1) 技術相談・指導

① 業種別件数

業種 No.	業 種	所内指導				現地指導			
		令和3年度		令和4年度		令和3年度		令和4年度	
		件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	食料品製造業	49	1.0	63	1.2		—	3	1.9
2	繊維工業	173	3.5	135	2.5	11	8.6	15	9.3
3	木材・木製品製造業	47	1.0	31	0.6	2	1.6		—
4	家具・装備品製造業	34	0.7	6	0.1		—		—
5	パルプ・紙・紙加工品製造業	15	0.3	23	0.4		—		—
6	印刷・同関連業	13	0.3	23	0.4		—		—
7	化学工業	355	7.2	415	7.7	4	3.1	2	1.2
8	石油製品・石炭製品製造業		—	10	0.2		—		—
9	プラスチック製品製造業	507	10.3	494	9.1	11	8.6	7	4.3
10	ゴム製品製造業	58	1.2	102	1.9		—	8	5.0
11	窯業・土石製品製造業	120	2.4	150	2.8		—		—
12	鉄鋼業	61	1.2	70	1.3		—		—
13	非鉄金属製造業	114	2.3	140	2.6		—		—
14	金属製品製造業	372	7.5	469	8.7	8	6.3	21	13.0
15	はん用・生産用・業務用機械器具製造業	1,028	20.9	1,159	21.4	18	14.1	19	11.8
16	電子部品・デバイス・電子回路製造業	91	1.8	72	1.3		—		—
17	電気機械器具製造業	268	5.4	336	6.2	15	11.7	5	3.1
18	情報通信機械器具製造業	17	0.3	27	0.5		—		—
19	輸送用機械器具製造業	635	12.9	574	10.5	2	1.6	7	4.3
20	その他の製造業	99	2.0	206	3.8	1	0.8	7	4.3
21	農業、林業、漁業	3	0.1	1	0.0	2	1.6	3	1.9
22	鉱業、砕石業、砂利採取業	6	0.1	16	0.3		—	1	0.6
23	建設業	29	0.6	10	0.2	1	0.8	2	1.2
24	電気・ガス・熱供給・水道業	10	0.2	16	0.3		—		—
25	情報通信業	2	0.04		—		—	2	1.2
26	運輸業、郵便業		—		—		—		—
27	卸売業、小売業	72	1.5	127	2.3		—		—
28	教育、学術研究、専門・技術サービス業	491	10.0	462	8.5	32	25.0	32	19.9
29	医療、福祉	47	0.9	30	0.6	12	9.4	8	4.4
30	その他	176	3.6	247	4.6	9	7.0	19	11.8
	合計	4,930	100.0	5,414	100.0	128	100	161	100.0

② 地域別件数

地域 No.	地 域	所内指導				現地指導				
		令和3年度		令和4年度		令和3年度		令和4年度		
		件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	
1	広島市	1,129	22.3	1,393	25.7	47	36.7	47	29.2	
2	呉市	1,075	21.3	1,097	20.3	14	10.9	15	9.3	
3	竹原市	82	1.6	88	1.6		—	6	3.7	
4	三原市	112	2.2	90	1.7		—		—	
5	尾道市	62	1.2	68	1.3	1	0.8		—	
6	福山市	109	2.2	116	2.1	6	4.7	3	1.9	
7	府中市	58	1.1	49	0.9	3	2.3		—	
8	三次市	6	0.1	25	0.5	1	0.8		—	
9	庄原市	95	1.9	108	2.0		—	2	1.2	
10	大竹市	97	1.9	88	1.6	1	0.8		—	
11	東広島市	1,055	20.9	912	16.8	32	25.0	63	39.1	
12	廿日市市	104	2.1	81	1.5	2	1.6	1	0.6	
13	安芸高田市	110	2.2	94	1.7		—	1	0.6	
14	江田島市	19	0.4	26	0.5	1	0.8	1	0.6	
15	府中町	149	2.9	221	4.1	6	4.7	6	3.7	
16	海田町	107	2.1	167	3.1	1	0.8		—	
17	熊野町	11	0.2	13	0.2		—		—	
18	坂町	4	0.1		—		—		—	
19	安芸太田町		—	7	0.1		—	2	1.2	
20	北広島町	52	1.0	32	0.6	4	3.1		—	
21	大崎上島町		—	14	0.3		—		—	
22	世羅町		—		—		—		—	
23	神石高原町		—		—	47	—		—	
24	県 外	山口県	22	0.4	34	0.6	4	3.1	2	1.2
25		岡山県	80	1.6	46	0.8		—	1	0.6
26		島根県	10	0.2	2	0.0		—		—
27		鳥取県	1	0.0		—		—		—
28		その他都道府県	381	7.5	643	11.9	5	3.9	11	6.8
合 計		4,930	100.0	5,414	100.0	128	100.0	161	100.0	

(2) 依頼試験

① 試験項目別件数

分類	試験項目	コード	令和3年度		令和4年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 試験及び測定	1 材料試験	B	374	29.8	764	44.4
	2 機械器具等の試験	C	6	0.5	15	0.9
	3 ひずみ測定	D		—		—
	4 騒音及び振動測定	E		—		—
	5 化学試験	F	21	1.7	13	0.8
	6 腐食耐候性試験	G	9	0.7	10	0.6
	7 めっき、塗膜等の被膜試験	H	6	0.5	11	0.6
	8 高分子材料試験	I	465	37.1	576	33.5
	9 測定	J	54	1.3	55	3.2
二 検査及び分析	1 一般定性分析	K	5	0.4	2	0.1
	2 一般定量分析	L	63	5.0	57	3.3
	3 特殊定性分析及び特殊定量分析	M	167	13.3	135	7.8
	4 工業用水及び工場排水検査	N	2	0.2		—
三 写真	O P Q R	16	1.7	17	1.0	
四 試作	S		—		—	
共通	一 成績書及び証明	T U	1	0.1		—
	二 他の項に定めのない試験等	V		—		—
	三 前処理及び試料調整	W	59	4.7	68	3.9
合計			1,253	100.0	1,723	100.0

② 地域別件数

地域 No.	地 域		令和3年度		令和4年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	広島市		91	7.3	300	17.4
2	呉市		693	55.3	439	25.5
3	竹原市		8	0.6		—
4	三原市		4	0.3	4	0.2
5	尾道市		2	0.2	7	0.4
6	福山市		3	0.2	3	0.2
7	府中市			—		—
8	三次市			—		—
9	庄原市			—	118	6.9
10	大竹市			—		—
11	東広島市		185	14.8	110	6.4
12	廿日市市		5	0.4	24	1.4
13	安芸高田市		28	2.2	366	21.3
14	江田島市		28	2.2	36	2.1
15	府中町			—		—
16	海田町		13	1.0		—
17	熊野町		6	0.5		—
18	坂町			—		—
19	安芸太田町		1	0.1	6	0.3
20	北広島町			—		—
21	大崎上島町			—		—
22	世羅町			—		—
23	神石高原町			—		—
24	県 外	山口県		—	—	—
25		岡山県	20	1.6	22	1.3
26		島根県		—	9	0.5
27		鳥取県		—		—
28		その他都道府県	166	13.2	279	16.2
合 計			1,253	100.0	1,723	100.0

(3) 設備利用

① 設備別件数

分類	コード	設 備 名	令和3年度		令和4年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
測定機器・試験機器及び分析機器	A001	万能試験機(一)10トン	204	4.5	287	5.4
	A002	万能試験機(二)25トン	97	2.1	139	2.6
	A003	万能試験機(三)50トン	93	2.0	79	1.5
	A004	万能試験機(四)100トン	15	0.3	62	1.2
	A005	流れ試験機	1	0.02	22	0.4
	A007	サーボバルサー		—		—
	A008	ICP発光分光分析装置	115	2.5	180	3.4
	A010	恒温恒湿室	164	3.6	85	1.6
	A011	実体顕微鏡	1	0.02	3	0.1
	A012	透過型微分干渉顕微鏡		—		—
	A019	ひずみ計		—		—
	A021	走査型電子顕微鏡(日本電子JSM-6510A)	433	9.5	535	10.1
	A022	蒸着装置	4	0.1	5	0.1
	A023	恒温恒湿器(300L)	44	1.0	80	1.5
	A024	振動試験機	286	6.3	209	3.9
	A025	防振台		—		—
	A026	自動ヒートディストーションテスタ	44	1.0	7	—
	A027	複合材料カッティングマシン	24	0.5	122	—
	A028	粒度分布測定装置		—	5	0.1
	A029	硬さ計	41	0.9	45	0.8
	A030	粉碎機		—		—
	A031	回流水槽		—		—
	A032	二軸押出成形機	76	1.7	168	3.2
	A033	射出成形機	58	1.3	130	2.4
	A034	熱伝導率計	18	0.4	49	0.6
	A036	示差熱分析装置	13	0.3	127	2.4
	A037	熱膨張測定装置	16	0.3		—
	A039	AE付密着性試験機		—		—
	A040	イオンクロマトグラフ分析装置	50	1.1	61	1.1
	A042	光学顕微鏡	49	1.1	44	0.8
	A043	試料切断機	32	0.7	14	0.3
A044	試料研磨機	42	0.9	27	0.5	
A045	非接触三次元測定装置		—	18	0.3	
A052	ラピッドプロトタイピング装置(一)熱溶解積層		—		—	
A054	動作解析装置		—		—	
A055	プラズマエッチング装置	37	0.8	4	0.1	
A056	マスクライメントシステム		—		—	
A057	エリプソメータ		—	2	0.0	
A058	音響計測装置	10	0.2	16	0.3	

分類	コード	設 備 名	令和3年度		令和4年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
測定機器・試験機器及び分析機器	A059	X線分析顕微鏡		—		—
	A060	万能塑性加工機		—		—
	A061	X線CT検査装置	12	0.3	14	0.3
	A062	赤外線熱画像処理装置	17	0.4	5	0.1
	A063	X線応力測定装置	62	1.4	18	0.3
	A064	計測データ記録装置		—		—
	A065	三次元測定機	112	2.4	62	1.2
	A066	自動万能薄板試験機	6	0.1		—
	A067	高周波加熱装置		—		—
	A068	デジタルマイクロスコープ	58	1.3	75	1.4
	A069	表面粗さ測定機	12	0.3	19	0.4
	A070	走査型電子顕微鏡(平成13年製)	36	0.8	18	0.3
	A071	引張試験機	30	0.7	16	0.3
	A073	やすり切削性能試験機	10	0.2	12	0.2
	A074	摩擦磨耗試験機	14	0.3	37	0.7
	A075	床衝撃音レベル測定装置		—		—
	A076	高速液体クロマトグラフ質量分析装置		—		—
	A077	表面抵抗計		—	6	0.1
	A078	放電焼結装置		—		—
	A080	非接触振動計(レーザドップラ振動計)		—	6	0.1
	A081	赤外分光分析装置	200	4.4	224	4.2
	A082	アイゾット衝撃試験装置	18	0.4	53	1.0
	A083	蛍光X線装置	10	0.2	64	1.2
	A084	カッティングプロッタ		—		—
	A085	ネットワーク/インピーダンスアナライザ		—	5	0.1
	A086	耐圧試験機	7	0.2		—
	A087	絶縁抵抗計		—		—
	A088	測圧機		—		—
	A090	投影機	4	0.1		—
	A091	プロトコルアナライザ		—		—
	A092	デジタルオシロ		—		—
	A093	筋電計		—		—
A095	ガスクロマトグラフ質量分析装置	22	0.5	162	3.0	
A096	電気炉	14	0.3	26	0.5	
A097	高周波溶解炉		—		—	
A098	ホットプレス	13	0.3		—	
A128	シャルピー式衝撃試験装置		—		—	
A129	キャス試験機	29	0.6	23	0.4	
A130	めっき膜厚計(電磁式)		—		—	
A132	めっき膜厚計(電解式)	206	4.5	45	0.8	

分類	コード	設 備 名	令和3年度		令和4年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 測定機器・ 試験機器 及び 分析機器	A133	イメージ分光システム		—		—
	A134	高速高精細カメラシステム		—		—
	A135	サーベイメータ		—		—
	A137	複合サイクル試験機	49	1.1	36	0.7
	A138	小型射出成型機		—		—
	A139	小型押出機		—		—
	A140	落錘衝撃試験機		—		—
	A141	大型高速衝撃圧縮試験機	422	9.2	572	10.8
	A142	ハイスピードカメラ	214	4.7	79	1.5
	A143	超音波顕微鏡		—		—
	A144	光学式動作解析装置	15	0.3	10	0.2
	A145	アーム型三次元形状測定装置		—		—
	A146	生体信号計測装置	44	1.0	3	0.1
	A147	恒温恒湿器(460L)	36	0.8	16	0.3
	A148	レーザー超音波可視化装置	5	0.1		—
	A151	微小圧縮試験機		—		—
	A152	屈折率計	3	0.1		—
	A153	粒度分布測定装置(光散乱式)	9	0.2		—
	A154	分光光度計	98	2.1	77	1.4
	A155	粘度計	13	0.3	3	0.1
	A156	X線回折装置	27	0.6	41	0.8
	A157	比表面積測定装置		—	19	0.4
	A158	レーザードップラー振動計		—	84	1.6
	A159	音響インテンシティ計測システム	206	4.5	160	3.0
	A160	振動音響解析ソフト		—		—
	A161	高周波計測システム		—		—
	A162	TOC計	2	0.0		—
	A163	全焦点三次元測定装置	41	0.9	33	0.6
	A164	恒温恒湿器(20L)	1	0.02		—
	A165	恒温恒湿器(800L)	39	0.9	113	2.1
A166	大型恒温槽	26	0.6	2	0.04	
A167	恒温槽	2	0.04	29	0.5	
A172	摩擦摩耗試験機(平面往復式)	54	1.2	91	1.7	
二 加工機器	A099	普通旋盤	15	0.3	7	0.1
	A100	フライス盤	7	0.2	12	0.2
	A101	ボール盤		—		—
	A102	高速帯のこ盤	7	0.2	10	0.2
	A104	折曲機		—		—
	A106	交流アーク溶接機		—		—
	A109	マシニングセンター		—		—
	A110	スクイズキャストマシン		—		—

分類	コード	設 備 名	令和3年度		令和4年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
二 加工 機器	A112	スパッタリング装置		—	8	0.2
	A114	CVD 装置	18	0.4	12	0.2
	A117	プレス(加熱型)	4	0.1	28	0.5
	A118	高速マシニングセンター		—		—
	A119	複合 NC 旋盤		—		—
	A120	NC フライス盤	9	0.2		—
	A122	溶接ロボット		—		—
	A124	卓上加工機	5	0.1		—
	A169	産業用ロボット(20kg 可搬 7 軸)	29	0.6		—
	A227	CFRP オートクレーブ(大型)	40	0.9	40	0.8
	A228	CFRP オートクレーブ(小型)	18	0.4	38	0.7
	A229	5 軸マシニングセンター		—		—
	A231	CFRP 用プレス	101	2.2	210	3.9
	A232	CFRP 用金型加熱装置	42	0.9	61	1.1
三 試験 室	A125	無響室	82	1.8	42	0.8
	A126	シールドルーム	32	0.7	56	1.1
	A127	残響室		—		—
小 計			4,574	100.0	5,318	100.0

(ひろしま産学共同研究拠点)

分類	コード	設 備 名	令和3年度		令和4年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 分析 機械	A506	ナノフォーカス X 線 CT	93	23.1	259	43.7
	A507	電界放射走査電子顕微鏡	23	5.7		—
	A508	電界放射走査電子顕微鏡(付属ナノメカニカル装置使用)	2	0.5	21	3.5
	A509	集束イオンビーム源付電界放射走査電子顕微鏡	121	30.0	199	33.6
	A501	透過型電子顕微鏡	109	27.0	110	18.5
	A502	顕微鏡試料作成装置		—		—
	A503	ウルトラマイクローム		—		—
	A504	透過型電子顕微鏡関連機器	27	6.7		—
	A505	光電子分光装置関連機器		—		—
	二 機 測	A521	光電子分光装置	28	6.9	4
小 計			403	100.0	593	100.0

年 度	令和3年度	令和4年度
合 計 件 数 (件)	4,977 (うち職員操作支援： 1,419 件)	5,911 (うち職員操作支援： 1,751 件)

② 地域別件数

地域 No.	地 域		令和3年度		令和4年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	広島市		1,156	23.2	1,306	22.1
2	呉市		720	14.5	897	15.2
3	竹原市		83	1.7	106	1.8
4	三原市		78	1.6	122	2.1
5	尾道市		72	1.4	30	0.5
6	福山市		56	1.1	102	1.7
7	府中市		35	0.7	23	0.4
8	三次市		4	0.1	17	0.3
9	庄原市		64	1.3	86	1.5
10	大竹市		213	4.3	—	—
11	東広島市		1,008	20.3	852	14.4
12	廿日市市		94	1.9	67	1.1
13	安芸高田市		169	3.4	148	2.5
14	江田島市		8	0.2	2	0.03
15	府中町		151	3.0	344	5.8
16	海田町		100	2.0	104	1.8
17	熊野町			—	—	—
18	坂町		2	0.04	—	—
19	安芸太田町			—	—	—
20	北広島町		2	0.04	27	0.5
21	大崎上島町			—	16	0.3
22	世羅町			—	—	—
23	神石高原町			—	—	—
24	県 外	山口県	40	0.8	69	1.2
25		岡山県	131	2.6	64	1.1
26		島根県	12	0.2	—	—
27		鳥取県			—	—
28		その他都道府県	779	15.7	1,223	20.7
合 計			4,977	100.0	5,911	100.0

注) ひろしま産学共同研究拠点利用分を含む。

② 機器整備

(平成24年度以降設置備品【取得金額300万円以上】)

名称	メーカー・型式	使用目的	取得年度	設置場所	備考
蛍光X線分析装置	(株)リガク ZSX primus IV	未知試料の成分分析	R3	電子顕微鏡室	JKA 補助金
電動式射出成形機	(株)日本製鋼所 J80ADS-110U	樹脂製品の成形	R2	先端複合材料開放試験室	JKA 補助金
ハンディタイプ非接触三次元形状・外観測定装置	CREAFORM 社 Go! SCAN SPARK	持ち運び使用可能で高速・高精度の三次元形状測定	R2	モデル試作室*	
非接触3D表面形状測定装置	ブルカーアリコナ社 インフィニートフォーカス	非接触で測定物形状を多点かつ高精度測定	R1	精密測定室*	JKA 補助金
自動ボンベ熱量計	小川サンプリング(株) O.S.K100-5	総発熱量の測定	R1	有機化学試験室	
赤外分光分析装置	日本分光(株) FT/IR-6600、IRT-7200	有機物の微小領域の分析	H29	赤外分光分析室	JKA 補助金
万能試験機	(株)島津製作所 AG-10KNXplus	温度を変えた精密万能試験	H29	プラスチック材料開放試験室	
光ファイバー温度計	JFE プラントエンジ(株) FIMTHERM-H	高速な温度測定	H28	材料物性試験室	JKA 補助金
レーザ超音波可視化検査装置	つくばテクノロジー(株) LUVI-CP1	各種材料の欠陥検査	H27	非破壊検査室	地域オープンイノベーション促進事業
恒温恒湿室	エスペック(株) TBE-3EW6P2T	耐熱性試験、耐湿試験等	H27	環境試験室	JKA 補助金
恒温恒湿器(460L)	楠本化成(株) HIFLEX NEO FX-420N	耐熱性試験、耐湿試験等	H27	機械工作室	
パソコン用ソフト	ラティス・テクノロジー(株) Vmech 他	ロボット用CAD及びシミュレータ	H27	NC加工室*	
振動試験機	IMV(株) i230/SA2M	電子部品や自動車部品等の振動試験	H26	振動実験室	JKA 補助金
モーションキャプチャー装置	Vicon Motion System Bonita10 カメラシステム	動作解析、歩行解析等	H26	実験デザイン室*	地域オープンイノベーション促進事業
生体信号計測装置	ディケイエイチ DL-5000 Tobii Technology トビーグラス2	筋電位と視線計測の操作性・身体負担検証	H26	実験デザイン室*	地域オープンイノベーション促進事業
三次元形状計測装置	東京貿易テクノシステム(株) Vectoron VMC6646Mpls	接触及び非接触による3次元形状測定	H26	モデル試作室*	地域オープンイノベーション促進事業
大型高速衝撃圧縮試験機	IMATEC IM10T-30 型	各種材料・製品の变形、破壊特性の評価・解析	H25	工作室	地域新産業創出基盤強化事業
ハイスピードカメラ	ナックイメージテクノロジー社 HX-5	部材や材料の变形・破壊挙動などの高速撮影	H25	工作室	地域新産業創出基盤強化事業
垂直多関節ロボット装置	(株)安川電機 MOTOMAN-SIA20F 他	ランダムピッキングシステム開発	H25	NC加工室*	
ICP 発光分析装置	(株)島津製作所 ICP-7510	溶液中の含有元素の定量分析	H24	発光吸光分析室	JKA 補助金

名 称	メーカ・型式	使用目的	取得 年度	設置場所	備考
複合サイクル試験機	スガ試験機(株) CYP-120	金属・表面処理等の耐食 性評価試験	H24	耐食性試験室	

※ 生産技術アカデミー

(4) 技術的課題解決支援事業（ギカジ）

(業種別件数)

業 種 No.	業 種	令和3年度		令和4年度	
		件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	食 料 品 製 造 業	0	—	2	1.7
2	織 維 工 業	2	1.9	0	—
3	木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	0	—	0	—
4	家 具 ・ 装 備 品 製 造 業	0	—	0	—
7	化 学 工 業	2	1.9	2	1.7
9	プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業	3	2.8	4	3.4
10	ゴ ム 製 品 製 造 業	8	7.4	9	7.6
11	窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	5	4.6	3	2.5
13	非 鉄 金 属 製 造 業	2	1.9	4	3.4
14	金 属 製 品 製 造 業	13	12.0	13	11.0
15	はん用・生産用・業務用機械器具製造業	39	36.1	40	33.9
16	電子部品・デバイス・電子回路製造業	1	0.9	1	0.8
17	電 気 機 械 器 具 製 造 業	3	2.8	3	2.5
18	情 報 通 信 機 械 器 具 製 造 業	3	2.8	2	1.7
19	輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	12	11.1	11	9.3
20	そ の 他 の 製 造 業	6	5.6	4	3.4
23	建 設 業	1	0.9	0	—
28	教育、学術研究、専門・技術サービス業	8	7.4	19	16.1
29	医 療 、 福 祉	0	—	1	0.8
合 計		118	100.0	118	100.0

(5) 現地指導

派遣先機関	内 容	場 所	回数	派遣者数 (人日)	派遣日
應原工業(株)	現地指導	東 広 島 市	6	6	R4.11. 7 R4.11.22 R4.12. 5 R4.12.22 R5. 1.11 R5. 1.31
(株)勝光山研究所	現地指導	庄 原 市	1	2	R4.12. 1
北陸ファイバーグラス (株)	現地指導	京都工芸繊維 大 学	1	2	R5. 1.24 ~ 25
(公財) 中国地域創造 研究センター	現地指導	(株)コーポレ ーションパー ル ス タ ー	3	3	R4. 5.13 R4. 5.31 R4. 6.13
(公財) 中国地域創造 研究センター	現地指導	中国電力(株)	2	4	R4. 5.30 R5. 3. 7
(公財) 中国地域創造 研究センター	現地指導	広島国際大 学	8	8	R4. 6.23 R4. 7.21 R4. 8. 8 R4. 8.26 R4. 9.15 R4.10.21 R4.12.20 R5. 1.26
(公財) 中国地域創造 研究センター	現地指導	広島県立総合 技術研究所西 部工業技術セ ンター	1	1	R4. 6.27
(公財) 中国地域創造 研究センター	現地指導	広島コンベン ションホール	1	2	R4.10.28
(公財) 中国地域創造 研究センター	現地指導	倉敷市立短期 大学	3	3	R4. 9. 2 R4.11. 4 R4.11.11
宮島町商工会	現地指導	廿日市市	2	2	R4.10.14 R4.11. 6
(公財) 中国地域創造 研究センター	現地指導	大和重工(株)	1	2	R5. 1.17
(株)カネカ	現地指導	大阪市	1	2	R5. 1.16

5 技術移転事業

(1) 広島県立総合技術研究所西部工業技術センター 保有技術紹介セミナー

- 開催日：令和4年11月18日(水)～12月19日(月)
- 開催方法：オンデマンド方式(クラウドストレージ「Box」による動画配信)
- 参加人数：76名
- 開催内容：センターの研究成果や保有技術(設備を含む)について紹介しました。
- プログラム
- 西部工業技術センター(呉)の研究成果・保有技術の紹介 ～ 7テーマ
 - ① タルク含有樹脂の発泡射出成形技術の開発
材料技術研究部 研究員 丸本 翼
 - ② かき養殖用パイプへの生分解性プラスチック活用技術の開発
材料技術研究部 主任研究員 宗綱 洋人
 - ③ 新型コロナウイルスを想定した空気感染評価装置の試作
材料技術研究部 副部長 小島 洋治
 - ④ 断熱性能の評価に関する取組(試作評価装置の紹介)
加工技術研究部 副部長 長谷川 浩治
 - ⑤ 3Dプリンタ造形品の積層間強度に及ぼす大気圧プラズマの影響
加工技術研究部 研究員 内山 陽介
 - ⑥ 自由曲面の研削を可能とするメタルシートやすりの開発
加工技術研究部 研究員 長岡 孝
 - ⑦ 金属組織試験の画像処理による自動化
加工技術研究部 主任研究員 寺山 朗
- 生産技術アカデミー(東広島)の研究成果・保有技術の紹介 ～ 3テーマ
 - ⑧ VR/AR技術を用いた公設試のバーチャル化(第2報)ー動的マニュアルの開発ー
製品設計研究部 主任研究員 佐々木 憲吾
 - ⑨ PFIB-TOF-SIMSによる遷移金属化合物中のリチウム(Li)マップと共存元素の同定
製品設計研究部 主任研究員 田邊 栄司
 - ⑩ 省電力広域無線通信(LPWA)に関する取組
生産システム研究部 研究員 石田 大騎

(2) 研究成果の公表

① 投稿

No.	テーマ名	氏名	学協会・誌名等
1	積層 DLC コーティングによるアルミニウム合金基複合材料の表面特性の改善	府山伸行、岡田皓稀、長岡 孝、西本明生	軽金属、第 72 巻 5 号、pp265-270 (2022) .
2	Improvement of surface properties of aluminum alloy-based composites by multi-layer DLC coating	N. Fuyama, K. Okada, T. Nagaoka, A. Nishimoto	Materials Transactions, Vol. 63 No. 10, pp1462-1468 (2022).
3	Non-destructive analysis of hollow-shaped single fibers using X-ray computed tomography	Wataru Tadano MS, Masaru Takeuchi MS, Eishi Tanabe PhD, Jens R. Stellhorn PhD, Kenji Komaguchi PhD, Akihiro Nakamoto PhD, Sadao Honda MS, Shinjiro Hayakawa PhD	Forensic Sci. 2022; 67: 1461-1467
4	Fabrication and Characterization of Oxygen-Carbon-Contained CrMnFeCoNi Coatings Electrodeposited in DMF-CH ₃ CN Solution with and without Supporting Electrolyte LiClO ₄	Tian Xiao, Rongguang Wang, ORCID, Eishi Tanabe, Yuhki Satoh, Mohammed Bazzaoui, Yunhan Ling and Zhaoxia Lu	Coatings 2022, 12(12), 1804
5	Synthesis of macroporous three-way catalysts via template-assisted spray process for enhancing mass transfer in gas adsorption	Phong Hoai Le, Yasuhiko Kitamoto, Kiet Le Anh Cao, Tomoyuki Hirano, Eishi Tanabe, Takashi Ogi	Advanced Powder Technology Volume 33, Issue 6, June 2022, 103581
6	Recent Advances in the Fabrication and Functionalization of Nanostructured Carbon Spheres for Energy Storage Applications	Kiet Le Anh Cao, Ferry Iskandar, Eishi Tanabe, Takashi Ogi	KONA Powder and Particle Journal No. 40 (2023) 197-218
7	In-situ flame deposition of Pt catalysts on Nb-doped SnO ₂ nanoparticles	Tomoyuki Hirano, Takama Tsuboi, Eishi Tanabe, Takashi Ogi	Journal of Alloys and Compounds Volume 898, 25 March 2022, 162749
8	Multiple ZnO Core Nanoparticles Embedded in TiO ₂ Nanoparticles as Agents for Acid Resistance and UV Protection	Tomoyuki Hirano, Shogo Kaseda, Kiet Le Anh Cao, Ferry Iskandar, Eishi Tanabe, and Takashi Ogi	ACS Appl. Nano Mater. 2022, 5, 10, 15449-15456
9	High specific surface area niobium-doped tin oxide nanoparticles produced in spray flames as catalyst supports in polymer electrolyte fuel cells	Tomoyuki Hirano, Takama Tsuboi, Kiet Le Anh Cao, Eishi Tanabe & Takashi Ogi	Journal of Nanoparticle Research volume 25, Article number: 1 (2023)
10	Density estimations and comparisons of a fragmented single fiber using X-ray computed tomography	Wataru Tadano, Eishi Tanabe, Jens R. Stellhorn, Kenji Komaguchi & Shinjiro Hayakawa	Analytical Sciences volume 39, pages235-240 (2023)

No.	テーマ名	氏名	学協会・誌名等
11	Ammonia-free synthesis and color tuning of oxynitride perovskite SrTaO ₂ N-SrTiO ₃ solid solution by using alkoxide-derived Ta-Ti binary oxide gel precursors	Takuya Sakata, Risa Yoshiyuki, Sohta Urushidani, Naoki Tarutani, Kiyofumi Katagiri, Kei Inumaru	Journal of Sol-Gel Science and Technology Vol.104, No.3, pp685-693 (2022)
12	Non-ammonolysis synthesis and characterization of environmentally benign yellow pigments based on Calcium tantalum perovskite oxynitrides	Takuya Sakata, Sohta Urushidani, Naoki Tarutani, Kiyofumi Katagiri, Kei Inumaru, Kyohei Koyama, Nozomu Iwata, Yuji Masubuchi	Materials Advances, Vol.3, No.12, pp4899-4907 (2022)

② 口頭発表等

No.	テーマ名	氏名 (○:発表者)	場所 (学協会等)	発表日
1	Speech recovery using adaptive noise canceller with multiple optimized primary channels	○L.Zhang, Y.Xiao, L. Ma, K.Khorasani, K. Hasegawa	2022 7th International Conference on Signal and Image Processing	R4. 7.21
2	足部センシングデータを用いた修正歩行異常性尺度の推定	○横山詔常、小玉龍、長谷川正哉	日本人間工学会第63回大会	R4. 7.30
3	産業支援のための広島県の電子顕微鏡 (TEM・FIB)、24 年間の運用と観察事例紹介	○田邊栄司	日本分析化学会第71年産学カフェ (文部科学省先端研究基盤共用促進事業)	R4. 9.14
4	ダイカスト合金における凝固収縮量の予測を目的とした密度測定とソフト計算の比較	○長岡孝、府山伸行、岡根利光	日本鑄造工学会第180回全国講演大会	R4. 9.30
5	アルミニウム合金鑄造における溶湯と金型間の熱伝達係数に及ぼす接触圧力の影響	○寺山朗、府山伸行、筒本隆博、志賀英俊、神戸洋史、岡根利光、吉田誠	日本鑄造工学会第180回全国講演大会	R4. 9.30
6	1 年間の追跡調査による地域高齢者の転倒状況の把握	○横山詔常、友國慶子、長谷川正哉	第12回日本新経路医学会	R4.11. 6
7	広島県立総合技術研究所西部工業技術センターの持つ技術シーズ	○西田裕紀	プラスチック成形加工学会第30回秋季大会 成形加工シンポジウム'22	R4.11.29
8	～企業のみなさんへ～ 人間工学をもっと役立てるために	○佃五月、○仲谷尚郁、○横山詔常	日本人間工学会関西支部大会	R4.12.20
9	画像処理に適した撮像技術 ～精度は撮影条件で決まる！～	○後藤孝文	ひろしま先進ものづくり研究会第3回研究会 (東部工業技術センター)	R4.12. 6
10	「エンドミル加工におけるびびり振動の解析・回避技術の開発」 「異形工具の加工誤差予測システムの開発」のポスター発表	○姫宮一輝、西川隆敏	精密工学会中国四国支部70周年記念事業	R5. 1.17

No.	テーマ名	氏名 (○:発表者)	場所 (学協会等)	発表日
11	電子線トモグラフィ及び FIB-SEM による三次元元素マップ	○田邊栄司	日本分析化学会 X 線分析研究懇談会第 278 回例会	R5. 1.20
12	びびり安定性指標に基づく最適ホルダ選択技術の開発	○姫宮一輝、西川隆敏	精密工学会春季大会学術講演会 (3/16)	R5. 3.16

③ 講演等

No.	講演内容		講演者	主催者	発表日
1	令和 4 年度 第 2 回中国地域産総研技術セミナー 「耐摩耗性を目的とした材料の開発と評価」	耐摩耗性を向上させた DLC コーティングの取り組み事例の紹介	長岡 孝	国立研究開発法人産業技術総合研究所中国センター	R5. 1.12

(3) 工業所有権

① 権利が確定した工業所有権（令和4年4月1日現在）

整理番号	登録番号	発明の名称	出願人	発明者*	登録年月日
52	特許 4941910	鋏型手動利器及びそのグリップアタッチメント	広島県 (有)ウド・エルゴ研究所	横山詔常、岡野 仁 中村幸司、橋本晃司 古川 昇、越智資泰 今井俊治	H24. 3. 9
66	特許 5339584	電子透過膜およびその製造方法	広島県 常翔学園	縄雅典生、山本 晃 本多正英、筒本隆博	H25. 8.16
68	特許 5309288	加工誤差予測のためのコンピュータプログラム、加工誤差予測装置およびその予測結果に基づいて工具経路を修正する装置	広島県 埼玉大学	西川隆敏、菊田敬一 岡野 仁、山下弘之	H25. 7.12
69	特許 5610265 (US9121090B2)	樹脂成形体	広島県 ダイキョーニシカワ(株)	小島洋治、縄雅典生 山本 晃	H26. 9.12 (H27. 9. 1)
73	特許 5678432	樹脂粘度測定方法及び樹脂粘度測定装置	広島県	佐々木憲吾、田平公孝 大橋俊彦	H27. 1.16
83	特許 5804367	加工誤差予測方法、加工誤差予測装置、工具経路修正方法及び工具経路修正装置	広島県	西川隆敏、菊田敬一 筒本隆博	H27. 9.11
89	特許 5967834	樹脂成形用金型、該樹脂成形用金型の製造方法及び樹脂成形品の製造方法	広島県 (株)積層金型	松葉 朗、藤井敏男 池田慎哉、西田裕紀	H28. 7.15
93	特許 6149272	ダイヤモンド被膜体、ダイヤモンド被膜部品及びそれらの製造方法	広島県	本多正英、筒本隆博 大橋俊彦、山本 晃	H29. 6. 2
100	特許 6176617	加工誤差予測方法、プログラムおよび加工誤差予測装置	広島県	西川隆敏、菊田敬一 筒本隆博	H29. 7.21
101	特許 6164434	エンドエフェクタ	広島県	安部重毅、藤原義也 岡野 仁、大賀 誠 是永晋治	H29. 6.30
102	特許 6300211 (6317052)	採材支援装置および制御プログラム	広島県	佐野 誠、古本浩章 小玉 龍、佐野俊和 山場淳史	H30. 3. 9 (H30. 4. 6)
104	特許 6284129	コンプライアンスデバイス	広島県	安部重毅、藤原義也 岡野 仁、倉本丈久 大賀 誠	H30. 2. 9
106	特許 6644298	歩行データ取得装置および歩行データ取得システム	広島県 県立広島大学	横山詔常、弓場憲生 小玉 龍、門藤至宏	R2. 1.10
107	特許 6732245	細胞培養装置	広島県 (株)ツーセル (株)スペースバイオラボラトリーズ	尾形康弘	R2. 7.10

整理番号	登録番号	発明の名称	出願人	発明者※	登録年月日
108	特許 6742614	水産物養殖用トレー及びそれを積層した水産物養殖用トレー積層体	広島県 かなわ水産(株) 大下産業(株)	佐々木憲吾、友國慶子	R2. 7.31
109	特許 6795812 (7018616)	アルミ合金製ボルト	広島県 松本重工業(株)	森下勇樹、府山伸行	R2.11.17 (R4.2.15)
110	特許 6316997	びびり振動回避装置、びびり振動回避プログラム、およびびびり振動回避装置の制御方法	広島県	西川隆敏、菊田敬一	H30. 4. 6
111	特許 6664746	歩行評価システムおよび歩行評価システムの作動方法	広島県 県立広島大学	横山詔常、橋本晃司 小玉 龍、弓場憲生	R2. 2.21
112	特許 6452874	金属加工装置、ロボット、及び金属加工方法	広島県	安部重毅、岡野 仁 岩谷 稔	H30.12.21
113	特許 7138868	測温センサピン及びそれを備える測温センサ	広島県 芝浦機械(株)	寺山 朗、府山伸行、 大石 郁	R4. 9. 9
114	特許 7106073	熱伝導率測定装置及び熱伝導率測定方法	広島県	筒本隆博、長谷川浩治 羽原雄太	R4. 7.15
115	特許 7094509	情報処理装置、制御プログラム及び情報処理方法	広島県	姫宮一輝、西川隆敏	R4. 6.24
117	特許 7231152	二枚貝開殻方法及び装置	広島県 三工電機(株)	友國慶子	R3.11. 4

※ 広島県関係者のみ記載

② 出願している工業所有権

・ 公開案件

整理番号	公開番号	発明の名称	出願人	発明者※	出願年月日
119	特開 2021-120637	演算装置、演算処理プログラム、および演算方法	広島県	田平公孝、佐々木憲吾、後藤孝文	R2. 1.30
120	特開 2021-162579	熱貫流率測定装置及び方法	広島県	筒本隆博、長谷川浩治、末村紘志	R2. 3.31
122	特開 2021-129499	浮体構造物	広島県	佐々木憲吾、友國慶子	R2. 2.18
123	特開 2021-115836	レーザー溶着装置及びレーザー溶着方法	広島県 広島大学 楠ジェイ・エム・エス	門 格史、藤井 宏、 大石 郁、小島洋治	R2. 1.29
127	特開 2021-168622	管状体の結束具と魚介類養殖用の浮体	広島県 三井化学産資(株)	佐々木憲吾、友國慶子	R2. 4.16
128	特開 2021-147672	廃棄鉄系金属粉末・廃棄プラスチック成形体及びその製造方法	広島県 NPO法人広島循環型社会推進機構	武田正良	R2. 3.19

整理番号	公開番号	発明の名称	出願人	発明者※	出願年月日
129	特開 2022-77157	金属加工装置及び金属加工方法	広島県	安部重毅、岡野 仁	R2.11.11
131	特開 2022-151645	解析装置、制御プログラムおよび解析方法	広島県	寺山 朗、府山伸行	R4. 2.21
132	特開 2022-151646	推定装置、シミュレーション装置、制御プログラム、データセットおよび推定方法	広島県	寺山 朗、筒本隆博	R4. 2.21

※ 広島県関係者のみ記載

- ・ 未公開案件
国内特許 8 件（内、令和 4 年度出願 2 件）

(4) 広報活動

① 技術情報提供等の実施状況

区 分		実施状況 (発行部数等)
発行図書類	事業概要	HP に掲載
	研究報告 (第 64 号)	
	業務年報	
施設設備の公開	見学者数 (名)	53

② 新聞報道等の状況

No.	報道等見出し	報道機関名	発行日
1	板状のCFRP量産技術を開発	中国新聞	R3. 4. 6
2	着座のままで運動効果	日刊工業新聞	R3. 6. 2
3	産学官のフューチャープラン(広島県立総合技術研究所) ～ 西部は素形材、MEMS ～	電子デバイス産業新聞	R3.10.28

6 人材育成事業

(1) 技術者研修

① めっき技術者研修（令和4年度第3回広島表面处理技術研究会）

- ・ 参加者：19名（11社）
- ・ 期間：令和4年7月2日
- ・ 場所：本所
- ・ 概要：湿式表面处理に関わる基礎技術の習得を目的として研修を行いました。

（研修カリキュラム）

区分	内 容	時間	講 師
座学	1) オリエンテーション 2) 試薬など実習での危険防止について 3) 化学分析及びハルセルについて	1	本多 正英 宗綱 洋人
実技	N i - C r めっき	2	本多 正英 宗綱 洋人 杉原 正洋 坂田 拓也
実技	Z n めっき	2	本多 正英 宗綱 洋人 杉原 正洋 坂田 拓也
実技	ハルセルテスト、メッキ液分析	2	本多 正英 宗綱 洋人 杉原 正洋 坂田 拓也

③ プラスチック材料技術者研修（令和4年度県市連携事業）

- ・ 参加者：12名（8社）
- ・ 期間：令和4年7月21日
- ・ 場所：本所
- ・ 概要：プラスチック材料と成形及び分析に関わる基礎技術の習得を目的として研修を行いました。

（研修カリキュラム）

区分	内 容	時間	講 師
座学	1) プラスチック(高分子)とは 2) プラスチックの種類と特徴について 3) 各種成形方法及び試験方法について	2	西田 裕紀
実技	押出成形及び射出成形	1	佐川 洋行 丸本 翼
実技	赤外分光分析及び電子顕微鏡観察(EDS 分析含む)	2	小島 洋治 菅坂 義和 宗綱 洋人
実技	引張試験等機械的特性試験及び質疑応答	1	西田 裕紀 佐川 洋行 丸本 翼

(2) 企業等研究員受入制度

当該年度の受入れは、ありませんでした。

7 産学官交流事業

(1) 研究会活動

研究会	内 容	場 所	開催日	参加者
広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会	<p>第1回研究会</p> <p>講演1 少量学習を可能にする進化的画像処理とその応用 ～説明可能 AI(XAI)に基づく処理の全自動構築～ 横浜国立大学 教授 長尾 智晴 氏</p> <p>深層学習のように膨大な学習データを必要とせずに、産業用画像処理を全自動で構築する進化的画像処理について、深層学習や XAI などの関連話題とともに平易に解説します。</p>	Web 開催	令和4年 11月2日	38名
	<p>第2回研究会</p> <p>講演1 施設管理・ものづくり DX ～複合施設管理、デジタルものづくり AI で新価値創造～ 株式会社アドダイス 代表取締役 CEO 広島大学デジタルものづくり教育センター客員教授 医仁会武田総合病院臨床研究センター 医療 AI 研究員 伊東 大輔 氏</p> <p>講演2 現場作業における人材配置の自動・最適マッチングで実現する、労働力減少対策及びコスト削減のアプローチとは？ IFS ジャパン株式会社 営業本部長 山口 元久 氏</p> <p>講演3 With コロナ時代実現する「現場」「業務」「組織」をつなぐデジタル戦略 ～家から・出先からでもリアルタイムなビジネスを実現するデジタル働き方改革～ PTC ジャパン株式会社 製品技術事業部 スマート・インダストリー技術本部長 松本 智久 氏</p> <p>講演4 生産技術アカデミーにおける AR/VR の取組事例紹介 広島県立総合技術研究所西部工業技術センター生産技術アカデミー 主任研究員 佐々木 憲吾 氏</p>	Web 開催	令和4年 11月30日	30名

(2) 他機関との連携・支援

① 公設試等連絡会議

(産業技術連携推進会議)

会 議 名	場 所	出席者	開催日
中国地域部会 令和4年度第1回中国地域連携推進企画分科会	オンライン開催	山本 晃 藤井 敏男 縄稚 典生 西川 隆敏 門藤 至宏	R4. 5. 31
中国地域部会 令和4年度中国地域公設試機関長・所長会議	オンライン開催	山本 晃 藤井 敏男	R4. 5. 31
中国地域部会 令和4年度中国地域産業技術連携推進会議 令和4年度第2回中国地域連携推進企画分科会	オンライン開催	山本 晃 藤井 敏男 縄稚 典生 西川 隆敏 門藤 至宏	R5. 2. 1
ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会 第24回医療福祉技術シンポジウム	オンライン開催	橋本 晃司 横山 詔常	R4. 9. 26
ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会 第6回人間生活工学研究会	書面開催	橋本 晃司 横山 詔常	R4. 9. 27
製造プロセス部会表面技術分科会 第28回本会議	オンライン開催	伊藤 幸一 内山 陽介	R4. 10. 13 ～ 14
製造プロセス部会 第8回DLC技術研究会	オンライン開催	内山 陽介	R4. 10. 14
情報通信・エレクトロニクス部会 音・振動研究会	オンライン開催	岩谷 稔	R4. 10. 20 ～ 21
産技連 第60回 高分子分科会	オンライン開催	田平 公孝 小島 洋治	R4. 10. 27
ナノテクノロジー・材料部会素形材分科会	オンライン開催	棗田 洋平	R4. 11. 7
製造プロセス分科会 IoTものづくり分科会2022	ハイブリッド開催	石田 大騎	R4. 11. 30
知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会	和歌山県 オンライン開催	前田 圭治 久保田将矢	R4. 12. 7 ～ 8
知的基盤部会 温度・熱研究会	オンライン開催	長谷川浩治 棗田 洋平	R4. 12. 8
知的基盤部会 第54回分析分科会 (ハイブリッド開催)	鹿児島市	坂田 拓也	R4. 12. 14 ～ 15
	オンライン参加	菅坂 義和	R4. 12. 15
中国地域部会・四国地域部会 合同 環境・エネルギー技術分科会	オンライン開催	宗綱 洋人	R4. 12. 20
中国地域部会 機械・金属技術分科会	オンライン開催	門 格史 前田 圭治 久保田将矢	R5. 2. 9
中国地域部会 中国地域連携推進企画分科会 令和3年度第2回感性創造3Dものづくり研究会	オンライン開催	橋本 晃司 横山 詔常	R5. 3. 2
ナノテクノロジー・材料部会素形材分科会 第18回鑄造技術研究会	オンライン開催	寺山 朗	R5. 3. 22

(その他)

会 議 名	場 所	出席者	開催日
スマート検査・モニタリング共創コンソーシアム 全体 Web 会議	オンライン開催	藤井 敏男 佐野 誠 宮野 忠文 門藤 至宏	R4. 5.30 R5. 1.25
令和 4 年度中国四国公設試験研究機関共同研究 (精密加工分野) 推進協議会	オンライン開催	前田 圭治 姫宮 一輝 久保田将矢	R5. 3. 1

④ その他の業務による派遣

派遣先機関	内 容	場 所	回数	派遣者数 (人日)	派遣日
広島県	企画運営委員会	オンライン開催	3	1	R4. 4.22 R4.11.29 R5. 3.15
	ひろしま感性イノベーション推進協議会	広島市 オンライン開催	3	5	R4. 5.25 R4.10.12 R5. 3. 1
(公財)ひろしま産業振興機構	ひろしま IoT 実践道場	オンライン開催	7	7	R4. 4.20 R4. 7.11 R4. 9.13 R4. 9.27 R4.12. 7 R5. 1.24 R5. 2.28
(株)広島テクノプラザ	広島県 EMC 研究会	東 広 島 市	5	5	R4. 6. 2 R4. 9. 6 R4.10.18 R4.12. 6 R5. 2.14
	広島県音振動技術研究会	Web 出席	5	5	R4. 8.25 R4.11.14 R4.12.13 R5. 2. 8 R5. 3.17
(公財)中国地域創造研究センター	中国地域質感色感研究会	広島市	2	2	R4. 5.30 R5. 3. 7
広島経済同友会 ひろしまデジタルイノベーションセンター	デジタルものづくり塾	オンライン開催	15	19	R5. 7.22 R4. 9. 5 R4. 9. 6 R4. 9. 7 R4.10. 4 R4.10. 5 R4.11. 8 R4.11. 9 R4.11.14 R4.12. 6 R4.12. 7 R5. 1.17 R5. 1.18 R5. 2.14 R5. 3.24
NPO 法人広島循環型社会推進機構	災害時における産業廃棄物処理業の潜在能力の活用 検討会	Web 出席	3	3	R4. 9. 6 R4.11.10 R5. 2. 9

派遣先機関	内 容	場 所	回数	派遣者数 (人日)	派遣日
広島大学デジタルものづくり教育センター	スマート検査モニタリングプロジェクトマシナリーヘルスモニタリングチーム	東 広 島 市 W e b 出 席	2	2	R4. 8. 1 R5. 3. 22
九 州 大 学	講義「人間工学研究法」	オンライン開催	1	1	R5. 1. 24

8 その他

(1) 職員研修

研修課程	場 所	研修者	期 間
バイオデザイン研修	オンライン開催 現地開催	富森 崇文	R 4 . 6 . 4
色材セミナー	WEB セミナー	坂田 拓也	R 4 . 6 . 8
時系列データの基礎と実践	WEB セミナー	藤本 直也	R 4 . 6 . 1 5
玉掛け技能&クレーン運転特別教育	三菱重工(株)広島製作 所 第一教育センター	棗田 洋平 丸本 翼	R 4 . 8 . 1 9 ~ 2 1 R 4 . 9 . 2 2 , 2 3
天井クレーン定期自主検査者安全教育	三菱重工(株)広島製作 所 第一教育センター	棗田 洋平	R 4 . 9 . 2 7
EMC 開発革新に向けた共創活動	ひろしまデジタルイノ ベーションセンター	井鷲 陽介 内山 陽介 石田 大騎	R 4 . 1 0 . 4 R 4 . 1 1 . 2 4 R 4 . 1 2 . 2 2 R 5 . 1 . 2 7 R 5 . 2 . 2 4
めっき技術の基礎とめっき被膜の評価法およびトラブル対処法」オンラインセミナー	WEB セミナー	杉原 正洋	R 4 . 1 0 . 7
第 57 回 真空技術基礎講習会	大阪産業技術研究所 本部・和泉センター	内山 陽介	R 4 . 1 0 . 1 2 ~ 1 3
中国四国地域公設試験研究機関研究者合同 研修会	徳島県	後藤 孝文	R 4 . 1 0 . 2 4 ~ 2 5
射出成形不良発生の未然防止のための手法	WEB セミナー	佐川 洋行	R 4 . 1 0 . 2 8
玉掛け技能&クレーン運転特別教育	オンライン開催	姫宮 一輝	R 4 . 1 0 . 2 8 ~ 3 0 R 4 . 1 1 . 1 8 R 4 . 1 1 . 2 0
射出成形の課題と成形技術の進歩	WEB セミナー	丸本 翼	R 4 . 1 1 . 1 1
実習で学ぶ画像処理・認識技術 (OpenCV 編)	高度ポリテクセンター	石田 大騎	R 4 . 1 1 . 1 7 ~ 1 8
EMC 共創活動 EMC・CAE 塾ワークシ ョップ	ひろしまデジタルイノ ベーションセンター	内山 陽介	R 4 . 1 1 . 1 8
第 13 回社会人のための表面科学ベーシッ ク講座	WEB セミナー	内山 陽介	R 4 . 1 2 . 5
国際画像機器展 国際画像セミナー	パシフィコ横浜	藤本 直也	R 4 . 1 2 . 7 ~ 9
Python による機械学習の基礎とデータ分 析の実践	WEB セミナー	佐川 洋行	R 5 . 1 . 6
Python ではじめる機械学習入門講座	WEB セミナー	杉原 正洋	R 5 . 1 . 1 8
第 30 回超音波による非破壊評価シンポジ ウム	(地独) 東京都立産業 技術研究センター	長谷川浩治	R 5 . 1 . 2 4 ~ 2 5

研修課程	場 所	研修者	期 間
オートモーティブワールド クルマの先端技術展	東京ビッグサイト	棗田 洋平	R 5 . 1 . 2 5 ～ 2 7
蛍光 X 線定期講習会	(株)リガク	坂田 拓也	R 5 . 1 . 2 6 ～ 2 7
触感・触り心地のメカニズムとその測定評価、製品設計や各種応用技術	WEB セミナー	藤本 直也	R 5 . 2 . 9
疲労設計の勘どころ	高度ポリテクセンター	久保田将矢	R 5 . 2 . 1 5 ～ 1 7
特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会	JA ビル (広島市)	宗綱 洋人	R 5 . 2 . 2 2
LMP シンポジウム 2023 レーザー加工技術の基礎・応用と最新動向	オンライン開催	門 格史	R 5 . 2 . 2 8 ～ 3 . 1
最新強度設計基準 (WEB セミナー)	オンライン開催	安部 重毅	R 5 . 2 . 2 8
電子情報通信学会総合大会	芝浦工業大学	石田 大騎	R 5 . 3 . 7 ～ 1 0
OpenCV を活用した画像処理の基礎とシステム開発への応用	オンライン開催	久保田将矢 横山 詔常	R 5 . 3 . 8
プラスチック・ゴムの劣化メカニズムと劣化評価法および高耐久性設計	WEB セミナー	佐川 洋行	R 5 . 3 . 8
マテリアルライフ学会第 15 回ケミルミネッセンス研究会	WEB セミナー	佐川 洋行	R 5 . 3 . 1 5
プラスチック射出成形の基礎と成形不良防止のポイント	WEB セミナー	丸本 翼	R 5 . 3 . 2 7

(2) 受賞等

賞 名	受 賞 者	主催団体	受賞日
日 本 鋳 造 工 学 会 中 国 四 国 支 部 奨 励 賞	寺山 朗	日本鋳造工学会 中国四国支部	R 4 . 4 . 3 0
中国地域公設試験研究機関功績者表彰 試験研究功績賞	橋本 晃司	公益財団法人 中国地域創造研究センター	R 4 . 1 1 . 1 1

付 録

(1) 令和4年度の主な行事等

(日 付)	(主な行事等)	(場 所)
令和4年		
7月3,10日	技術者研修「めっき技術」	西部工業技術C
11月2日	広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会 「第1回研究会」	オンライン開催
11月18日	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 保有技術紹介セミナー	オンライン開催
11月30日	広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会 「第2回研究会」	オンライン開催

(2) 沿 革

(年 月)

(主 な で き ご と)

昭和24年 (1949)	4月	呉市公園通6丁目に広島県立呉工業試験場の設立決定
	11月	広島県立呉工業試験場を設立し、機械科、金属科の2科を設置
昭和25年 (1950)	9月	庶務係を新設、金属科を金属第1科、金属第2科に改組
昭和26年 (1951)	2月	鑄造実験室・溶解場を新築(昭和42年2月撤去)
昭和29年 (1954)	8月	鑄造科、工業化学科を新設
昭和34年 (1959)	8月	化学試験室を新築
昭和38年 (1963)	1月	鑄造実験室を新築
昭和39年 (1964)	4月	福山市沖野上町に福山支場を新設
	11月	化学試験室にプラスチック開放試験室を増設
昭和40年 (1965)	4月	広島県立窯業試験場を広島県立呉工業試験場竹原支場に改称
	5月	福山支場庁舎を山手町に新築移転
昭和42年 (1967)	4月	金属第1科を金属科に改称、金属第2科を廃止し、溶接科、金属化学科を新設
昭和43年 (1968)	3月	本場の本館鉄筋コンクリート造3階建及び鉄骨平屋実験棟を新築
	6月	竹原支場を廃止し、本場に窯業科を設置
昭和46年 (1971)	4月	機構改革により科制を廃止し、総務部、公害研究室、機械部、金属部、化学部、福山支場の4部、1室、1支場体制
昭和57年 (1982)	4月	公害研究室をエネルギー対策室に、機械部を機械電子部に改組
昭和59年 (1984)	3月	熱処理実験室内に炭素繊維応用加工技術開放試験室を新設
	4月	広島県立西部工業技術センターに改称し、企画管理部、エネルギー対策室、システム開発部、金属加工部、応用化学部及び福山支所の4部、1室、1支所体制
昭和60年 (1985)	3月	敷地内に(財)広島県産業技術振興機構のフロンティア技術センターを新設
	3月	炭素繊維応用加工技術開放試験室を増設
昭和62年 (1987)	4月	福山支所が広島県立東部工業技術センターに統合される
昭和63年 (1988)	4月	エネルギー対策室を資源開発部に改組
平成3年 (1991)	10月	呉市阿賀南2丁目10-1で新庁舎の起工式を実施
平成5年 (1993)	3月	新庁舎完成、移転完了
	4月	企画管理部、情報技術部、材料技術部、生産技術部、システム技術部、資源環境技術部の6部体制
平成11年 (1999)	4月	生産技術アカデミー設計部門を開所して、システム技術部を廃止し、生産技術部を応用加工技術部に、資源環境部を資源環境技術部に改組
平成13年 (2001)	4月	生産技術アカデミー新庁舎完成・開所
平成19年 (2007)	4月	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センターとなる 東部及び西部工業技術センターの情報技術部と東部工業技術センターの産業デザイン部を生産技術アカデミーに集約(4研究部体制) 本 所 : 総務担当、技術支援部、材料技術研究部、加工技術研究部 生産技術アカデミー : 総務担当、技術支援担当、製品設計研究部、生産システム研究部
平成21年 (2009)	4月	本所に炭素繊維プロジェクトチームを設置(～平成30年3月)
平成22年 (2010)	4月	生産技術アカデミーに金型加工プロジェクトチームを設置(～平成25年3月)
平成25年 (2013)	4月	生産技術アカデミーに産業用ロボットプロジェクトチームを設置(～平成28年3月)
令和2年 (2020)	4月	生産技術アカデミーにDX(デジタルトランスフォーメーション)推進担当を設置

(3) 令和5年度の職員

(令和5年4月1日現在)

(本 所)

所属	職 名	氏 名
	センター長	山 本 晃
	次 長	石 橋 政 詞
	次 長	縄 稚 典 生
総務担当	主 幹	西 原 久 人
	主 査	楠 岡 静 香
	主 任(エルダースタッフ)	北 野 智 之
	主 任(エルダースタッフ)	掲 野 史 也
技術支援部	(兼)部 長	縄 稚 典 生
	担当部長(営業担当)	池 田 裕 朗
	研 究 員	井 鷲 洋 介
	研究員(エルダースタッフ)	山 下 弘 之
材料技術研究部	部 長	田 平 公 孝
	副 部 長	松 永 尚 徳
	副 部 長	小 島 洋 治
	総 括 研 究 員	本 多 正 英
	主 任 研 究 員	菅 坂 義 和
	主 任 研 究 員	宗 綱 洋 人
	主 任 研 究 員	河 野 洋 輔
	主 任 研 究 員	西 田 裕 紀
	主 任 研 究 員	杉 原 正 洋
	研 究 員	坂 田 拓 也
	研 究 員	佐 川 洋 行
	研 究 員	丸 本 翼
	研究員(エルダースタッフ)	下 原 伊智朗
加工技術研究部	部 長	府 山 伸 行
	担 当 部 長	長谷川 浩 治
	副 部 員	伊 藤 幸 一
	主 任 研 究 員	問 山 清 和
	主 任 研 究 員	森 下 勇 樹
	主 任 研 究 員	岩 谷 稔
	主 任 研 究 員	寺 山 朗
	研 究 員	棗 田 洋 平
	研 究 員	長 岡 孝
	研 究 員	藤 本 直 也
	研 究 員	内 山 陽 介
	試験研究従事員	筒 本 隆 博

(生産技術アカデミー)

所属	職 名	氏 名
	支 所 長	藤 井 敏 男
	次 長	佐 野 誠
総務担当	主 任(エルダースタッフ)	永 末 浩 二
	会計年度任用職員	浦 島 紀 子
技術支援担当	担当部長(営業担当)	門 藤 至 宏
	主 任 研 究 員	友 國 慶 子
製品設計研究部	部 長	安 部 重 毅
	副 部 長	大 川 正 巳
	主 任 研 究 員	佐々木 憲 吾
	主 任 研 究 員	田 邊 栄 司
	主 任 研 究 員	橋 本 晃 司
	主 任 研 究 員	横 山 詔 常
	研 究 員	姫 宮 一 輝
	研 究 員	富 田 佳 央
生産システム研究部	部 長	宮 野 忠 文
	副 部 長	門 格 史
	主 任 研 究 員	前 田 圭 治
	主 任 研 究 員	岡 野 仁
	研 究 員	小 玉 龍
	研 究 員	石 田 大 騎
	研 究 員	久保田 将 矢
	研 究 員	坂 本 一 真
DX推進担当	担 当 部 長	村 河 亮 利
	主 任 研 究 員	倉 本 丈 久

人員 60名 (内、企業派遣1名、エルダースタッフ5名、会計年度任用職員1名、試験研究従事員1名)

(企業派遣)

-	研 究 員	末 村 紘 志
---	-------	---------

令和 5 年 6 月

編集・発行

広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター

〒737-0004 呉市阿賀南 2 丁目 10-1

E-mail wkcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

TEL (0823) 74-1151

FAX (0823) 74-1131

広島県 西部工業

検索

